

平成27年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社AFC-HDアムスライフサイエンス
 コード番号 2927 URL <http://www.ams-life.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 浅山雄彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役社長室長 (氏名) 白鳥弘之

四半期報告書提出予定日 平成27年1月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 054-281-5238

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年8月期第1四半期の連結業績(平成26年9月1日～平成26年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年8月期第1四半期	3,371	△2.4	173	△20.6	166	△17.6	99	△23.0
26年8月期第1四半期	3,455	△5.7	218	△16.0	201	△15.9	129	9.6

(注) 包括利益 27年8月期第1四半期 111百万円 (△27.3%) 26年8月期第1四半期 153百万円 (18.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年8月期第1四半期	8.41	8.37
26年8月期第1四半期	10.92	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
27年8月期第1四半期	16,757		6,670		38.8
26年8月期	16,811		6,570		38.4

(参考) 自己資本 27年8月期第1四半期 6,504百万円 26年8月期 6,451百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年8月期	—	5.00	—	5.00	10.00
27年8月期	—	—	—	—	—
27年8月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年8月期の連結業績予想(平成26年9月1日～平成27年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,000	1.6	330	△6.0	300	△5.6	170	△16.9	14.31
通期	14,000	2.0	750	32.9	700	37.9	400	41.4	33.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年8月期1Q	12,189,720 株	26年8月期	12,189,720 株
27年8月期1Q	311,739 株	26年8月期	311,739 株
27年8月期1Q	11,877,981 株	26年8月期1Q	11,877,981 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信の添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期(平成26年9月1日～平成26年11月30日)におけるわが国の経済は、企業収益の改善が見られるなど緩やかな回復基調が続きました。一方、海外景気の下振れなどが国内経済を下押しする懸念要因となっております。

当社グループが属する健康食品業界は、高齢者人口の増加と消費者の健康維持・増進、美容・アンチエイジングに対する意識の高さから、今後とも潜在需要は引き続き堅調に推移するものと思われまます。しかしながら、消費増税の影響が長引いたことに加え、企業間の競争は価格競争の面で一段と激しさを増しており、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の下、主軸OEM部門においては受注が堅調に推移し増収となったものの、厳しい経営環境に加え、前期に行った不採算店舗の閉鎖が影響し直販部門が減収となり、当第1四半期連結売上高は3,371百万円(前年同期比2.4%減)となりました。損益については、減収による売上総利益の減少が影響し、営業利益は173百万円(前年同期比20.6%減)、経常利益は166百万円(前年同期比17.6%減)、四半期純利益は99百万円(前年同期比23.0%減)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①ヘルスケア事業

・OEM部門

当社グループの主力事業である当部門は、青汁やスムージーなど一般食品寄りの商品が伸長し、売上高は前年同期比3.5%増となりました。

機能性表示の解禁を含む新制度への対応については、消費者庁のガイドラインの提示があり次第、早急に取り組める体制を整えております。

・海外部門

アジア地域を主な取引先とする当部門は、市場でのコラーゲンドリンクの低迷を受け、新商品の投入や新規顧客の獲得に注力いたしました。フィリピンにおいて美容商材が好調に推移したものの、高価格商材であるコラーゲンドリンクの不調を埋めきれず、当部門の売上高を伸ばすまでには至りませんでした。

・通信販売部門

前期に続き定番人気商材のリニューアルを進め、新シリーズ“GOLDシリーズ”3種を発売しました。また、インターネット販売において顧客ニーズに合った商品ラインアップの拡充が奏功いたしました。しかしながら、健康食品における通販市場の競争激化や消費増税による顧客の購買意欲の低下などにより、当部門の売上高は前年同期を下回る結果となりました。

・卸販売部門

主要販路であるドラッグストア及び量販店へ新商品の導入を進めました。しかしながら、店頭における販売促進不足により、部門売上高は前年同期を下回る結果となりました。

課題である店頭での商品PRの方法、ブランドイメージの訴求など販売促進活動の見直しを行っており、販路に適した新商品の投入とともに注力してまいります。

・店舗販売部門

当部門は“百貨店における店舗販売”“百貨店とタイアップした通信販売”“百貨店外商部での販売強化”の3つを販路としております。店舗販売では新たに定期購入への誘導を行い優良顧客の囲い込みに努めました。また、通信販売ではタイアップ先が2社増加しました。しかしながら、前期に行った不採算店舗の閉鎖が影響し、当部門の売上高は前年同期を下回る結果となりました。

以上の結果、ヘルスケア事業の業績は、売上高3,047百万円(前年同期比1.9%減)、営業利益258百万円(前年同期比5.5%減)(全社費用調整前)となりました。

②医薬品事業

医薬品市場は、大別して医師の処方箋に基づき病院・診療所、調剤薬局で購入する医療用医薬品市場と、医師の処方箋が要らず、ドラッグストアで購入する一般用医薬品市場に分けられます。

医療用医薬品事業は、主力の製造承認を取得した医療用漢方製剤40品目について、医師、薬剤師及び医薬品卸の営業担当者に対して、品質・安全性の確保に対する取り組みのほか、同業他社の製品と比べ効果効果の同等性が極めて高いこと及び患者さんの経済的負担（医療費の自己負担）が小さいことなどを説明してきました。

また、一般用医薬品事業についても、積極的な営業活動及び販売促進活動などを行いました。

しかしながら、競争激化や店舗販売部門における不採算店舗などの閉鎖が影響し、医薬品事業全体では、売上高が323百万円（前年同期比7.3%減）、営業利益は31百万円（前年同期比11.1%減）（全社費用調整前）となりました。

（2）財政状態に関する説明

①流動資産

当第1四半期連結会計期間末における流動資産合計は、前連結会計年度末に比べ23百万円増加し、8,140百万円となりました。この増加要因は主として、有利子負債の返済を進めたことなどにより現金及び預金が155百万円減少した反面、受取手形及び売掛金が122百万円、原材料及び貯蔵品が39百万円増加したことによるものであります。

②固定資産

当第1四半期連結会計期間末における固定資産合計は、前連結会計年度末に比べ77百万円減少し、8,617百万円となりました。この減少要因は主として、償却により有形固定資産が91百万円減少したことによるものであります。

③流動負債

当第1四半期連結会計期間末における流動負債合計は、前連結会計年度末に比べ102百万円増加し、6,735百万円となりました。この増加要因は主として、返済により短期借入金が41百万円減少した反面、支払手形及び買掛金が99百万円、未払法人税等が59百万円増加したことによるものであります。

④固定負債

当第1四半期連結会計期間末における固定負債合計は、前連結会計年度末に比べ257百万円減少し、3,351百万円となりました。この減少要因は主として、返済により長期借入金が222百万円減少したことによるものであります。

⑤純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ100百万円増加し、6,670百万円となりました。この増加要因は、四半期純利益の計上により利益剰余金が40百万円増加したことに加え、株式報酬の計上により新株予約権が38百万円増加したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年10月10日の「平成26年8月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,119,317	3,963,680
受取手形及び売掛金	1,689,861	1,812,161
商品及び製品	870,795	879,294
仕掛品	552,629	549,353
原材料及び貯蔵品	662,069	701,440
その他	227,951	239,430
貸倒引当金	△5,602	△5,196
流動資産合計	8,117,022	8,140,164
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,047,322	2,999,228
土地	4,075,187	4,075,187
その他（純額）	885,348	842,093
有形固定資産合計	8,007,859	7,916,509
無形固定資産		
のれん	6,122	5,867
その他	39,829	36,654
無形固定資産合計	45,951	42,521
投資その他の資産		
その他	664,475	682,036
貸倒引当金	△23,369	△23,951
投資その他の資産合計	641,106	658,085
固定資産合計	8,694,917	8,617,116
資産合計	16,811,940	16,757,281
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,645,359	1,744,820
短期借入金	3,796,273	3,755,271
未払法人税等	41,679	100,833
賞与引当金	92,700	121,120
ポイント引当金	45,000	41,000
その他	1,012,007	972,769
流動負債合計	6,633,019	6,735,814
固定負債		
社債	350,000	350,000
長期借入金	1,992,402	1,770,046
役員退職慰労引当金	367,655	367,655
退職給付に係る負債	208,219	209,191
負ののれん	3,943	3,802
その他	686,534	650,436
固定負債合計	3,608,754	3,351,131
負債合計	10,241,773	10,086,945

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,405,498	1,405,498
資本剰余金	1,482,684	1,482,684
利益剰余金	3,777,680	3,818,217
自己株式	△228,223	△228,223
株主資本合計	6,437,639	6,478,176
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,705	26,755
その他の包括利益累計額合計	13,705	26,755
新株予約権	118,820	157,416
少数株主持分	—	7,986
純資産合計	6,570,166	6,670,335
負債純資産合計	16,811,940	16,757,281

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成25年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年9月1日 至平成26年11月30日)
売上高	3,455,557	3,371,031
売上原価	2,398,700	2,361,939
売上総利益	1,056,857	1,009,091
販売費及び一般管理費	838,212	835,487
営業利益	218,645	173,604
営業外収益		
受取利息	21	27
受取配当金	2,804	12,811
受取賃貸料	2,648	4,914
負ののれん償却額	140	140
助成金収入	4,623	-
その他	3,676	3,450
営業外収益合計	13,915	21,344
営業外費用		
支払利息	29,458	25,011
その他	1,393	3,676
営業外費用合計	30,852	28,688
経常利益	201,708	166,260
特別利益		
投資有価証券売却益	2,863	1,127
特別利益合計	2,863	1,127
特別損失		
固定資産除却損	164	177
特別損失合計	164	177
税金等調整前四半期純利益	204,407	167,209
法人税、住民税及び事業税	71,812	97,280
法人税等調整額	2,850	△28,791
法人税等合計	74,663	68,489
少数株主損益調整前四半期純利益	129,744	98,720
少数株主損失(△)	-	△1,206
四半期純利益	129,744	99,926

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成25年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年9月1日 至平成26年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	129,744	98,720
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	23,940	13,049
その他の包括利益合計	23,940	13,049
四半期包括利益	153,684	111,769
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	153,684	112,976
少数株主に係る四半期包括利益	-	△1,206

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成25年9月1日 至 平成25年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	ヘルスケア事業	医薬品事業	
売上高			
外部顧客への売上高	3,106,680	348,877	3,455,557
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	3,106,680	348,877	3,455,557
セグメント利益	273,872	35,373	309,245

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	309,245
全社費用(注)	△90,599
四半期連結損益計算書の営業利益	218,645

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成26年9月1日至平成26年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	ヘルスケア事業	医薬品事業	
売上高			
外部顧客への売上高	3,047,649	323,382	3,371,031
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	3,047,649	323,382	3,371,031
セグメント利益	258,775	31,450	290,225

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	290,225
全社費用(注)	△116,621
四半期連結損益計算書の営業利益	173,604

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。